「千葉市こども未来応援プラン」平成30年度進行管理表(評価C,D抜粋)

【進捗状況評価基準】 A. 計画以上の成果があった

C. 計画どおり実施できなかった D. 未実施(休止・中止等)

資料3-2

(令和元年10月18日現在)				H29年度【計画初年度】		H30年度		
No.	事業名	所管課	事業概要	評価	取組内容·実施結果	新規• 拡充	評価	取組内容·実施結果
41	家庭教育支援事業の実施	生涯学習振興課	学校、各地域団体、行政等との連携を図り、臨床心理士等の様々な講師を招いて、子育 てに関する不安や悩みを解消できるよう、学習機会の提供や、個別相談を行います。	С	ニーズに応じて、相談活動等の実施会場・実施回数の調整を行った。 また、継続的な活動が行えるよう、子育てサポーターの増員を図った。 36人 ⇒ 39人		С	①子育てママのおしゃべりタイム実施館数(目標: 28館 ⇒ 実績: 22館)②家庭教育支援チーム数(目標: 4チーム ⇒ 実績: 2チーム)③子育てサポーター(目標: 42人 ⇒ 実績: 35人)
65,147	生活支援講習会等事業	こども家庭支援課	ひとり親家庭を支援するため、児童のしつけ・育児や養育費取得手続きなどをテーマにした、講習会とグループ相談会を開催します。	В	講座内容: ①暮らし・子育て②セルフ・ストレスケア③制度知識④ライフプラン・教育費受講後にグループ相談会実施 受講者延人数: 大人52名、子ども19名		С	講座内容:①生き方②ほめ方③仕事・キャリア④教育費 親講座参加者数:延べ20名(定員:20名×4回) 子講座参加者数:延べ12名(定員:15名×4回)
66,86,148	ひとり親家庭等相談支援事業	こども家庭支援課	専門の相談員が離婚後の生活全般に関する相談に応じます。	В	本人や支援者から、子育てや暴力、生活の悩みに関する相談があり、提案や関連窓口へ繋いだ。 相談件数:10件(女性9件、男性1件)		С	市政だよりや受託団体ブログ等、ひとり親各種講座内での事業周知を図った。 本人や支援者から、子育てや暴力、生活の悩みに関する相談があり、提案や関連窓口へ繋いだ。 毎月第1~第4水曜日実施 目標:30件 ⇒ 実績:14件
68,102,120	身元保証人確保対策事業		児童養護施設や母子生活支援施設等に入所中又は退所した子どもや女性等が、就職 や住居を賃借する際に、施設長等が身元保証人となった場合の損害保険契約を締結 し、身元保証人を確保し、社会的自立を促進します。	С	利用実績なし		С	利用実績なし
75	休日保育事業	幼保運営課	保護者が就労等のため、日曜日・祝日等に保育を必要とする児童に対し、休日保育を行います。	В	実施園数7園を維持 経費が給付費を上回る園に対し、補助金を支給した(3園)	拡充	С	増園することができなかった(実施園数7園を維持)。 経費が給付費を上回る園に対し、補助金を支給(2園)
76	夜間保育事業	幼保運営課	保護者が就労等のため、夜間保育所(おおむね午前11時から午後10時開所)における 保育を必要とする児童に対し、夜間保育を行います。	D	こどもプランの見直しにより実施なし。		D	こどもプランの見直しにより実施なし。
88	ひとり親家庭情報交換事業	こども家庭支援課	ひとり親家庭の親等がお互いの悩みを打ち明け、相談し合う場づくりとして、情報交換事業を実施します。	С	新規事業開始を含め協議・検討していたものの、既存事業として実施している生活支援 講習会後のグループ相談会との整理が必要なことから、事業を見直し、情報交換事業と して整備し実施。		С	生活支援講習会実施後の各テーマに基づいたグループ相談会を通して、ひとり親家庭同士の交流を図った。 実施回数: 4回 参加者数: 延べ11名(定員: 120名)
103,125	自立援助ホーム心理職配置助成	こども家庭支援課	自立援助ホームにおいて、入所児童の自立を促進するため、心理担当職員の配置に要する費用を助成します。	-	平成30年度新規事業	新規	С	実績なし